

## 天声人語

氣象学者の故関口武さんによると、日本には2145もの風の名があるという。いまの時候はとりわけ多彩である。べたつ風が吹く▼東京都議選を制したのは「緑の風」だった。小池百合子都知事が率いる都民ファーストの会を象徴する色である。昨年の知事選で緑色の服を身にまとつて大勝した▼「この選挙では緑色の悪い風が吹いていて強いんです」。石原伸晃・前自民党東京都連会長は選挙期間中に訴えた。「悪い風」などとあけすけな物言いをせざるを得ないほど追い込まれていたのだろう▼なにせ自民には強烈な逆風が吹いた。二つの学園ミステリーが田に冷害を及ぼす「やませ」のようだつた。終盤に浮上した献金疑惑は空を暗くする「荒南風」なら、防衛相の問題発言は稻田に冷害を及ぼす「やませ」のようだつた。終盤に浮上した献金疑惑は空を暗くする「荒南風」なら、防衛相の問題発言は稻田に冷害を及ぼす「やませ」のようだつた。投票前日に初めて駅頭で演説のマクトを握った首相に、「帰れ」「辞めろ」と声が飛んだ。日ごろ官邸では浴びることのない「炎風」の激しさに驚いたことだろう▼今後を見すえて気になるのは、都民ファーストが有権者の心をしつかり捕まえたようには見えないことだ。五輪といい市場移転といい、小池知事に実績らしい実績はまだない。このままであれば、追い風はやがてやむ。次には横風が吹き、冷たい向かい風に転ずる。

2017・7・3